

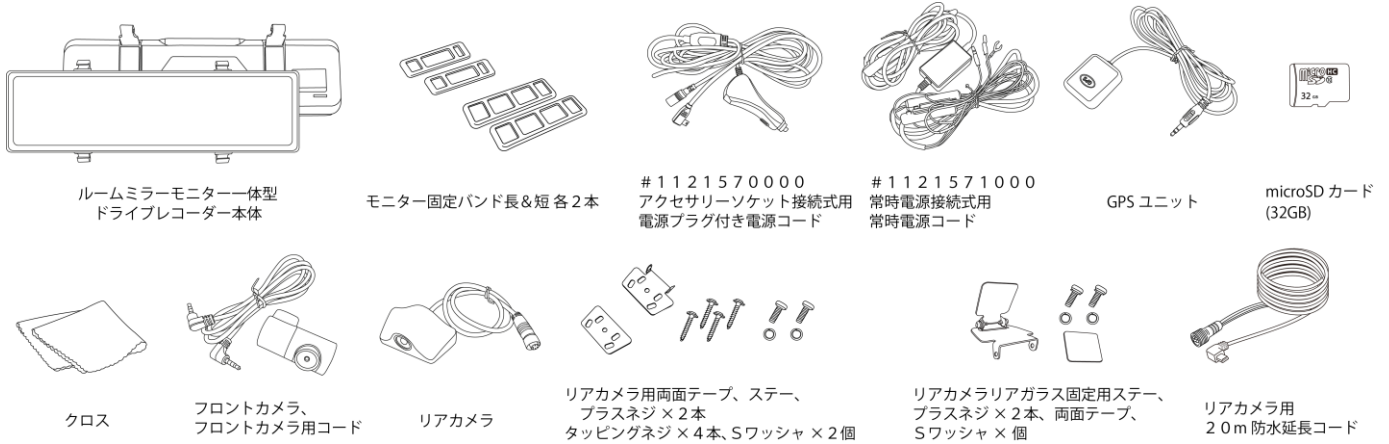
取扱説明書

ドライブレコーダー・リアカメラセット ルームミラー一体型

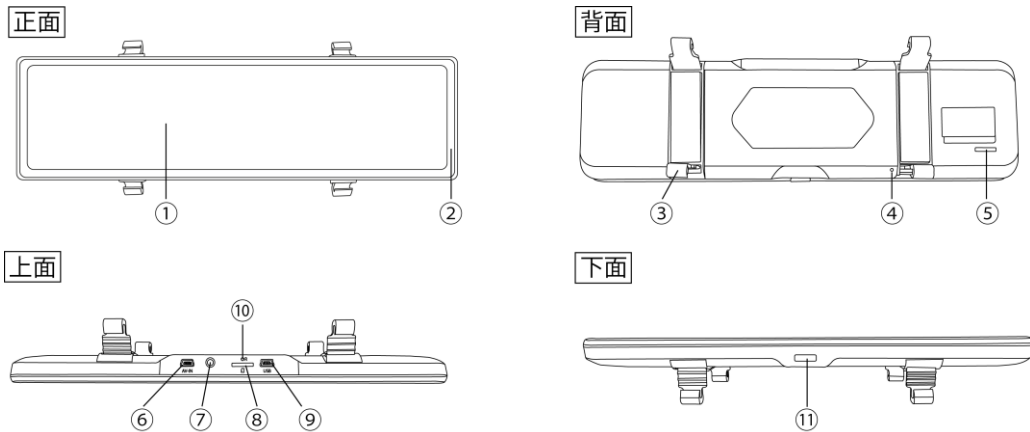
※本取扱説明書は、ドライブレコーダー・リアカメラセット ルームミラー一体型『# 1 1 2 1 5 7 0 0 0 0（アクセサリソケット接続式）』と『# 1 1 2 1 5 7 1 0 0 0（常時電源接続式）』の取扱説明書になります。
 ※車両への装着、加工作業を行なう前に、必ず作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。

1, セット内容と各部名称

●セット内容



●各部の名称と主な働き



- ①液晶モニター（タッチパネル式）
- ②ルームミラー
ルームミラーの周囲部分はタッチパネル非対応です。
- ③固定用フック
モニター固定バンドを取り付けします。
- ④マイク
周辺の音声を集音します。
- ⑤スピーカー
音声を出力します。
- ⑥リアカメラ接続ソケット（AV-IN）
リアカメラ用20m防水延長コードを接続します。
※電源プラグ付き電源コードを誤って接続しないように注意してください。
- ⑦フロントカメラ接続ソケット
フロントカメラ用コードを接続します。
- ⑧microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。
- ⑨電源コード接続ソケット（USB）
1 1 2 1 5 7 0 0 0 0 アクセサリソケット接続式の場合、電源プラグ付き電源コードを接続します。
1 1 2 1 5 7 1 0 0 0 常時電源接続式の場合、常時電源コードを接続します。
※リアカメラ用20m防水延長コードを誤って接続しないように注意してください。
- ⑩リセットボタン
本製品が正しく作動しなくなった場合、システムリセットを行なうことで再起動します。
- ⑪電源ボタン
3秒以上長押し操作で手動での電源ON/OFF、短く押すと液晶モニター表示ON/OFFを行います。

2, microSD カードの取り扱い

●microSD カードの挿入方法

※本商品の電源が切れていることを確認してから作業を行ってください。

付属の microSD カードの端子面をリセットボタン側に向けて、microSD カードスロットに“カチ”と音がするまで差し込んでください(図1 参照)。

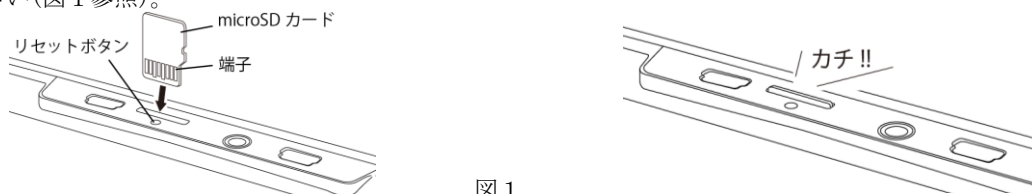


図 1

●microSD カードの取り出し方法

microSD カードスロットに挿入されている microSD カードの上端を、“カチ”と音がするまで奥へ軽く押し込んでください。microSD カードを取り出す事ができます(図2 参照)。

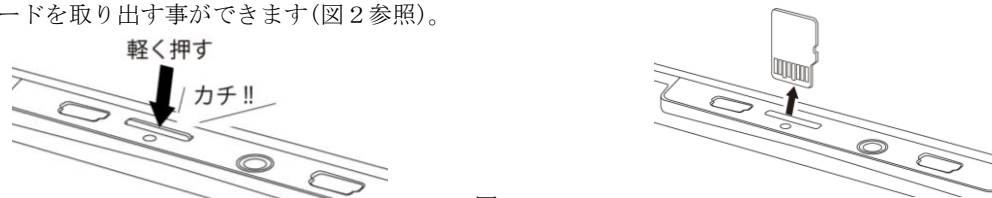


図 2

●最大録画可能時間

microSD カード容量		8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
最大録画可能時間	常時	約25分	約50分	約100分	約200分	約400分
	イベント	約7分	約15分	約30分	約60分	約120分
撮影可能枚数	写真	約35枚	約70枚	約140枚	約280枚	約560枚

図 3

- ・上記は、前後カメラ同時使用時の最大録画可能時間となります。
- ・最大録画可能時間は、あくまでも目安の値となります。録画環境によって、録画時間に差が生じます。
- ・最大録画可能時間は、常時録画／イベント録画／静止画を含めた録画時間となります。
- ・常時録画／イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありませんが、事故などに遭った場合は必ず安全な場所に停車させてから、速やかに microSD カードを抜き取り、保管してください。
- ・保存しておきたい録画ファイルは『6, バックアップ方法』を参照し、パソコンでバックアップを作成してください。
- ・microSD カード内の約3GBの容量は、常にシステム領域として確保されている為、録画使用できません。

3, 取付方法

●取付推奨位置(フロントガラス)、純正ルームミラーへの取付イメージを参考に取付位置を決めてください(図4、5 参照)。

- ・フロントガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上のガラス開口部の実長20%以内の範囲の位置。
- ・運転支援システム、衝突安全装置等の動作に影響を及ぼさない位置。
- ・運転者の前方視界の妨げにならない位置。
- ・車検ステッカーと重ならない位置。
- ・車両のサンバイザーと干渉しない位置。
- ・フロントカメラがワイパーの拭き取り範囲に入る位置。
- ・フロントカメラが前方および左右に対して水平方向を向く位置。

取付推奨位置

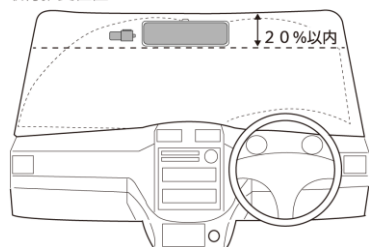


図 4

純正ルームミラーへの
取付イメージ

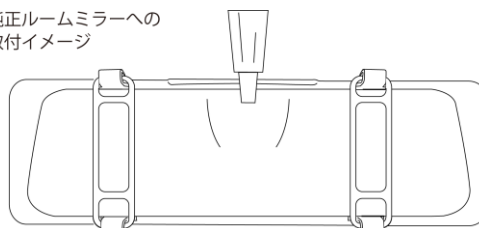
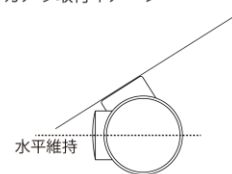


図 5

フロントガラスへの
カメラ取付イメージ



- 1) 本商品を車両へ取り付けする前に、必ず作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。
- 2) 純正ルームミラーのサイズに応じて、使用するモニター固定バンド長または短を選択し、固定用フックの上側に掛けてください(図6 参照)。
- 3) 純正ルームミラーを挟み込むように、2) で取り付けしたモニター固定バンド×2本をルームミラーの背面を通して固定用フックの下側に掛けてください(図7 参照)。
- 4) 本商品が純正ルームミラーへ確実に取付されていることを確認してください。固定が緩い場合は、使用するモニター固定バンド長または短や、モニター固定バンドの固定用フック掛け位置を変更してください。

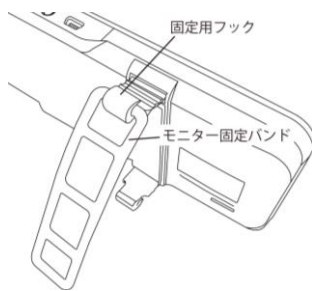


図 6

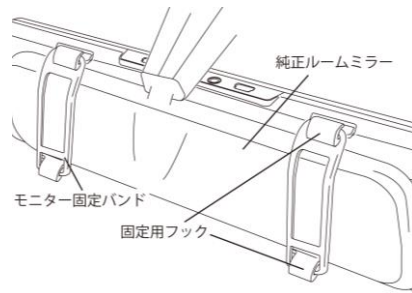
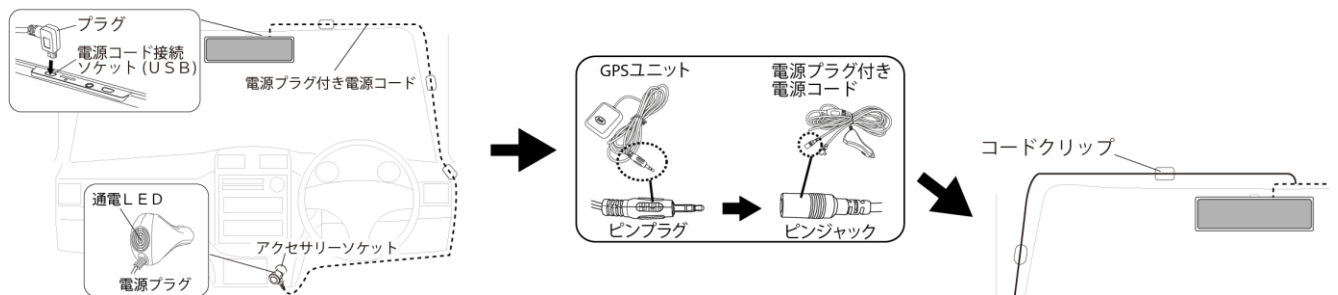


図 7

- 5) ・ # 1 1 2 1 5 7 0 0 0 0 (アクセサリースOCKET接続式) の場合
電源プラグ付き電源コードのプラグを電源コード接続ソケット (U S B) へ、電源プラグを車両側のアクセサリースOCKETにそれぞれ差し込んでください(図 8 参照)。
※電源プラグ付き電源コードを切断して使用しないでください。プラグ内で変圧しています。
- ・ # 1 1 2 1 5 7 1 0 0 0 (常時電源接続式) の場合
常時電源コードのプラグを電源コード接続ソケット (U S B) へ差し込んでください。
次に赤色配線 (A C C) を車両側の A C C 配線へ、黄色配線 (B A T +) を常時電源バッテリープラス配線へ、必ず絶縁処理を施しギボシ端子で確実に接続してください。
最後に黒色配線 (G N D) を車両側へボデーアースしてください(図 8 参照)。

● # 1 1 2 1 5 7 0 0 0 0 (アクセサリースOCKET接続式) の場合



● # 1 1 2 1 5 7 1 0 0 0 (常時電源接続式) の場合

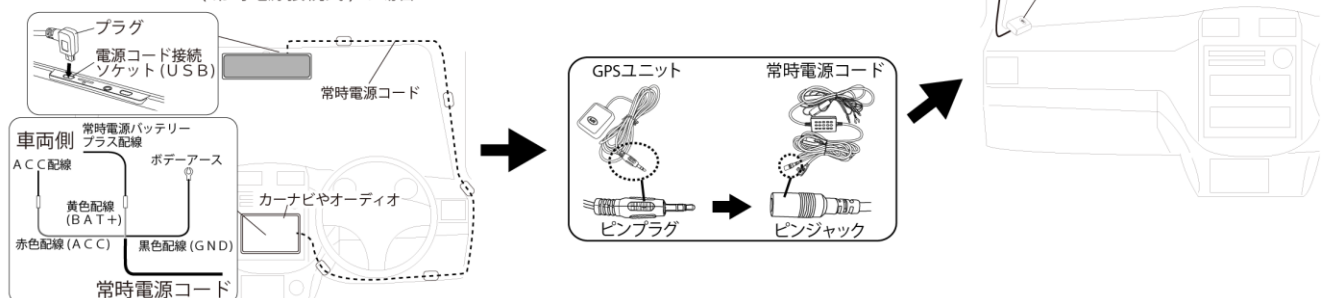


図 8

- 6) GPSユニットのピンプラグをそれぞれの電源コードのGPSユニット接続ピンジャックへ差し込み、GPSユニット本体は液晶モニターから距離を取り、ダッシュボードの上などの水平な場所へ、ユニット裏面の両面テープを使用して取り付けしてください(図 8 参照)。
※GPSユニットを取り付けする際は、ダッシュボード上の油分や汚れをしっかりと拭き取ってください。
- 7) コード類はピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図 8 参照)。

●フロントカメラ配線方法と取付方法

- フロントカメラ用コードのプラグを液晶モニターのフロントカメラ用コード接続ソケットへ差し込んでください(図 9 参照)。
- 次に、フロントカメラ用コードの他端のプラグを、フロントカメラのフロントカメラ用コード接続ソケットへ差し込んでください(図 10 参照)。
- 付属の両面テープを使用して、フロントカメラをフロントガラスの内側に取り付けしてください(図 11 参照)。
※フロントカメラを取り付けする際は、フロントガラスの油分や汚れをしっかりと拭き取ってください。
※フロントカメラを取り付けする前に、配線を仮接続し、カメラの上下向きを確認してください。
- 角度を調整する場合は、カメラレンズ部分を上下方向に回転させ、任意の角度に調整してください(図 11 参照)。
- コード類は内張り、ピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図 12 参照)。
また、コード類を無理に折り曲げたり、挟まないよう注意してください。
※光の差し込み具合などにより、車内がフロントガラスに映り込み、映像が確認しにくい場合があります。

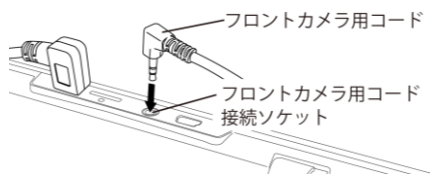


図 9

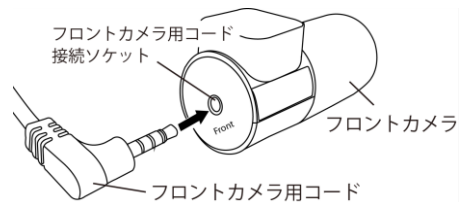


図 10



図 11

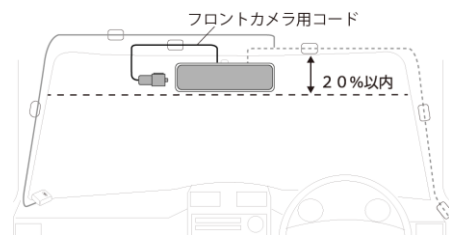


図 12

●リアカメラ配線方法と取付方法

- リアカメラを使用する場合は、リアカメラ用20m防水延長コードのプラグをリアカメラ接続ソケット（AV）へ差し込んでください（図13参照）。
- リアカメラを取り付けする前に、配線を仮接続し、カメラの上下向きを確認してください。
- リアカメラをバック連動のバックカメラとして使用する場合は、車両のバックランプ配線のプラス線にリアカメラ用20m防水延長コードの赤色配線を接続してください。その際、赤色配線はDC12/24V配線のどちらに接続しても問題ありません（図14参照）。

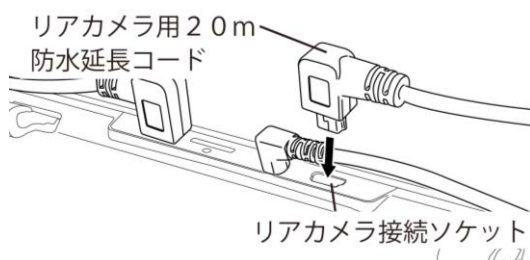


図 13

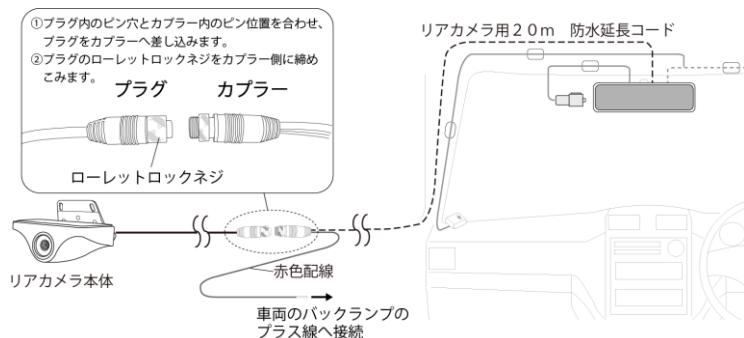


図 14

- リアカメラ用20m防水延長コードを車内配線し、カメラ側カプラーとリアカメラのプラグのピンとピン穴を合わせて奥まで確実に差し込んでください（図14参照）。
リアカメラを車外で使用する場合は、必要に応じて、リアカメラのコードを通す穴、及び、カメラステーを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工をしてください。
- リアカメラ側のローレットロックネジを時計回転方向に回して確実に締めこんでください（図14参照）。
締め込みが不完全な場合、中に水が入り、故障の原因となります。
- 付属のタッピングネジ、両面テープを使用して、リアカメラを車両に取り付けしてください。リアガラスへ貼り付けて使用する場合は、カメラステーをリアガラス固定用ステーへ交換し、付属の両面テープを使用してリアカメラをリアガラスの内側に取り付けしてください（図15参照）。
※リアカメラを取り付けする際は、取り付け部分の汚れをしっかりと拭き取ってください。
- リアカメラの角度を調整する場合は、各ステー、ブラケットを固定しているプラスネジを反時計回転方向に回して緩め、任意の角度に調整してください。調整後、各プラスネジを時計回転方向に回して確実に締め付けてください（図15参照）。
- コード類は内張り、ピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等（付属していません）で配線を固定してください（図14参照）。
また、コード類を無理に折り曲げたり、挟まないよう注意してください。
※光の差し込み具合などにより、車内がリアガラスに映り込み、映像が確認しにくい場合があります。
※リアガラスの電熱線と重ならない位置へ取り付けしてください。

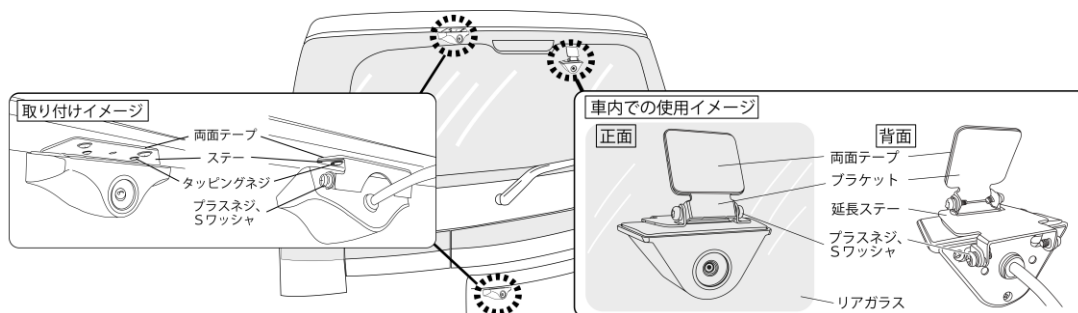


図 15

4, 使用方法

●電源のON/OFF

- 1) 『3, 取付方法』の手順通りに配線された状態で、車両のエンジンを始動させてください。
- 2) 各電源コードに通電すると、本商品の電源が自動的にオンになり液晶モニターに『PA-MAN』が表示されたのちシステムが起動します(図16参照)。
- 3) 手動で本商品の電源をON/OFFする場合は、電源ボタンを3秒以上長押ししてください。液晶モニターに『PA-MAN』が表示されたのちシステムが起動/終了します(図16参照)。
- 4) システム起動状態で、電源ボタンを短く押すと液晶表示を消すことができます(録画は継続されます)。再度電源ボタンを短く押す、又は液晶モニターをタッチすることで、カメラ映像表示画面に戻ります。



図 1 6

●microSD カードのフォーマット方法

※本商品はフォーマットフリータイプですが、『録画できない』『録画したファイルが再生できない』などの症状が発生した際や、『64GB以上のmicroSDカードをご使用時』は、バックアップを作成後に本商品を使用してmicroSDカードのフォーマットを行ってください。

※フォーマットをする際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

※『SDカードをフォーマットできませんでした』と画面に表示された場合は、microSDカードの劣化の恐れがあります。新しい指定のmicroSDカードと交換してください。

※別の機器で使用済のmicroSDカードを使用すると、システム起動後に液晶モニターへmicroSDカードのフォーマットの案内が表示されます。フォーマットに同意する場合は、『OK』をタッチしてください。【※本作業後は、フォーマット作業を中止することはできません】(図17参照)。

※フォーマットすると、microSDカード内の全てのファイルが消去されます。ご注意ください。

- 1) 液晶モニターの【】アイコンをタッチして録画を停止し、メニュー設定アイコン【】をタッチすると、メニュー設定画面に切り替わります(『4, 使用方法 ●液晶モニター表示と操作』を参照)。
- 2) メニュー項目から『SDカードフォーマット』を選択してください(図18参照)。
- 3) 液晶モニターへmicroSDカードのフォーマットの案内が表示されます。フォーマットに同意する場合は、『OK』をタッチしてください(図18参照)。

【※本作業後は、フォーマット作業を中止することはできません。】

- 4) しばらくするとフォーマットが完了し、microSDカード内の全てのデータが消去されます。



図 1 7

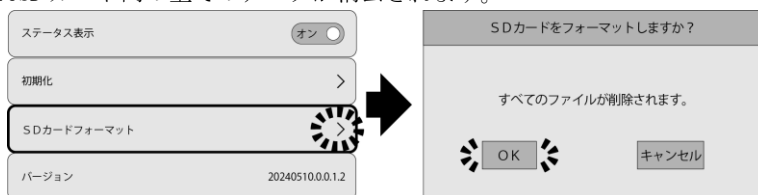


図 1 8

●液晶モニター表示と操作

○各種アイコン&表示について

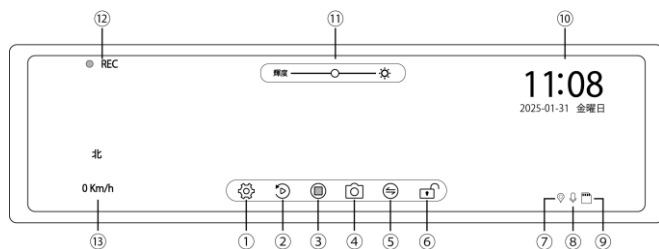


図 1 9

○液晶モニターの区域分けについて

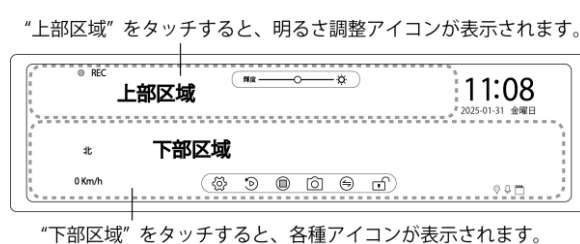


図 2 0

- ①メニュー設定アイコン : アイコンをタッチすると、メニュー設定画面に切り替わります(『5, メニュー設定一覧』参照)。
※メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。
- ②ファイル再生アイコン : アイコンをタッチすると、microSDカード内に記録したファイルの再生画面に切り替わります(『●ファイルの再生』を参照)。
※再生画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。
- ③録画開始/停止アイコン : アイコンをタッチすると録画の開始/停止を操作できます。
【】: 録画中 【】: 録画停止中
- ④静止画像撮影アイコン : アイコンをタッチすると、カメラでフロント/リアの静止画像を同時に撮影します(『●静止画像撮影』を参照)。
- ⑤カメラ切り替えアイコン : 液晶モニターに表示するカメラ映像をフロント/リア/2画面で切り替えることができます。
- ⑥イベント入力アイコン : アイコンをタッチすると、常時録画中の映像を緊急録画(イベント録画)として保護します(『●各種録画について』を参照)。
【】: 常時録画中 【】: イベント録画中(黄色)
※Gセンサーで衝撃を感知し衝撃録画(イベント録画)作動時もアイコン表示は上記同様です。
- ⑦GPSアイコン : GPSが正常に受信している場合は緑色で表示し、受信していない場合は白色で表示します。

- ⑧音声録音アイコン : ビデオ録画時の音声記録を設定します (『5, メニュー設定一覧』参照)。
 【🔊】: 音声記録オン 【🔇】: 音声記録オフ
- ⑨microSD カードアイコン : microSD カードの挿入状態を確認できます。
 【📀】: 挿入時 【❓】: 未挿入時・認識エラー時
- ⑩日時表示 : 日付／曜日／時刻が表示されます。日時表示をタッチすると設定画面が表示されます。設定したい項目をタッチし、【➕】【➖】のアイコンで日時を設定してください (図21参照)。
- ⑪明るさ調整アイコン : 液晶モニターの『上部区域』をタッチすることで『明るさ調整アイコン』が表示されます。上部区域内で、指を左右にスライド操作することで画面の明るさを調整することができます (図20、22参照)。



図 2 1

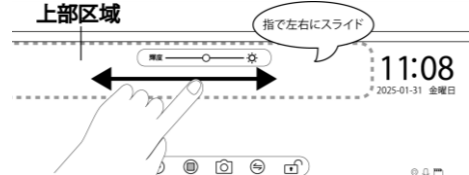


図 2 2

- ⑫録画アイコン : 常時録画中は、赤色に点滅し、イベント録画中は、黄色に点滅します。
- ⑬方角・速度表示 : GPSが正常に受信されていると、取付車両の方角・速度を表示します (『5, メニュー設定一覧』参照)。
 ※本商品の速度表示と実車の速度メーターの表示で、誤差が発生する場合があります。予め、ご了承ください。

○表示映像の位置調整

カメラ映像表示中に、液晶モニターを指で上下にスライド操作することで表示映像の上下位置を調整することができます (図23参照)。
 ※フロントカメラ、リアカメラそれぞれで調整することができます。
 ※上下位置調整後は、次回起動時以降も同じ位置で表示されます。



図 2 3

●静止画像撮影

- 1) 液晶モニターの『下部区域』をタッチすることで、各種アイコンが表示されます (図20参照)。
- 2) 静止画像撮影アイコン【📷】をタッチしてください (図19参照)。
- 3) アイコンをタッチすると、シャッター音が鳴り、カメラで静止画像を撮影します。
 ※録画中に静止画像を撮影しても録画は中断されません。
 ※フロント／リアの静止画像を同時に撮影します。

●各種録画について

・常時録画／イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありませんが、事故などに遭った場合は必ず安全な場所に停車させてから、速やかにmicroSD カードを抜き取り、保管してください。

○常時録画 (ループ録画)

- 1) 本商品が起動すると同時に、液晶モニターの左上の録画アイコンが赤色に点滅し、常時録画が自動的に開始します。
- 2) 常時録画では1分ごとにデータを分割して連続で録画します。
 microSD カードの録画領域がなくなると、古いデータから順に消去して録画を続けます。
- 3) 録画を開始／停止するときは、液晶モニターの『下部区域』をタッチし、各種アイコンを表示させ、【📷】【🔴】アイコンをタッチして操作してください (図19、20参照)。

○イベント録画

・衝撃録画

- 1) 常時録画 (ループ録画) 中に、突発的な衝撃や予期しない衝突などを感知し、内蔵のGセンサーが作動した場合 (Gセンサーを高・中・低に設定)、常時録画を中断し、その時点のファイルをイベント録画ファイルとして1分間録画します。イベント録画後は、自動的に常時録画に戻ります。
- 2) 衝撃を感知すると、液晶モニターに『ファイルをロックしました』と表示され、イベント入力アイコン表示が【🔒】から【🔓】に切り替わり、アイコンが黄色に点灯します。また、イベント録画中は、液晶モニターの左上の録画アイコンが黄色に点滅します (図19参照)。

・緊急録画

- 1) 常時録画 (ループ録画) 中にイベント録画を行いたい場合は、液晶モニターの『下部区域』をタッチし、各種アイコンを表示後、イベント入力アイコン【🔒】をタッチしてください (図19、20参照)。
- 2) アイコンをタッチすると『ピッ』と音が鳴り、液晶モニターに『ファイルをロックしました』と表示され、アイコン表示が【🔒】に切り替わりイベント録画を手動で行ないます。ファイルの録画条件は、『○イベント録画・衝撃録画』と同様です。

○駐車録画

※本機能は、#1121571000（常時電源接続式）の場合のみ、設定・使用可能です。#1121570000（アクセサリソケット接続式）の場合は、使用できません。

- 1) 車両のエンジンを停止（ACCオフ）すると、液晶モニターに『タイムラプスに入ります』と表示され、駐車録画をタイムラプスで常時行います。
- 2) 内蔵のGセンサーが衝撃を感知した場合、イベント録画ファイルとして録画します。イベント録画後は、自動的にタイムラプスで常時録画に戻ります。

※タイムラプスとは、一定の間隔で撮影した複数の静止画像を繋ぎ合わせて、早回しされているような動画として再生する方法になります。

※出荷時は『駐車録画設定』は『オフ』になっています。駐車録画を行う場合は、設定を行ってください（『5、メニュー設定一覧』参照）。

※駐車録画作動中は、液晶モニターは作動しません。

※『3、取付方法・#1121571000（常時電源接続式）の場合』の手順通りに配線された場合のみ、駐車録画機能は設定・使用可能です。配線を間違えると本商品の破損または、車両側のヒューズが溶断する恐れがあります。

※駐車録画作動中にバッテリーの低電圧を検知した際は、車両バッテリー保護の為に駐車録画を中止し、自動でシステムを終了します。

※車両のドアを閉めた際の振動で駐車録画が作動することがあります。

※設定詳細に関しましては、『5、メニュー設定一覧』を参照してください。

●ファイルの再生

○再生方法

※再生画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 液晶モニターの『下部区域』をタッチすることで、各種アイコンが表示されます（図20参照）。
- 2) 【】アイコンをタッチして録画を停止してください（図19参照）。
- 3) ファイル再生アイコン【】をタッチして再生画面を表示してください（図19参照）。
- 4) フロント【F】／リア【R】を選択してください（図24参照）。
- 5) 続いて、フォルダを選択後、ファイルをスクロールして再生したいファイルを選択してください（図24参照）。
- 6) サムネイル画面でビデオファイルは再生され、静止画像は表示されます。
- 7) ファイルを削除する場合は、再生・表示中に【】アイコンをタッチして削除してください（図24参照）。

※削除したファイルを復元することはできません。

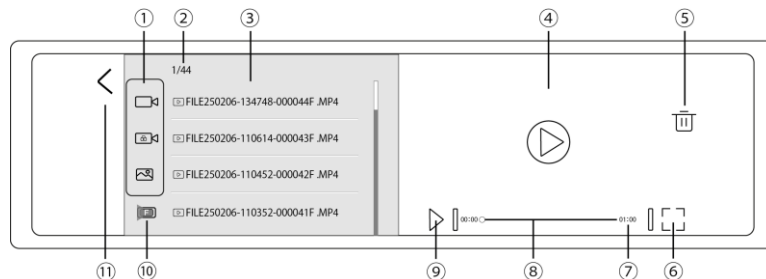


図 2 4

①フォルダ選択 : 常時録画フォルダ／イベント録画フォルダ／静止画像フォルダの種類を選択します。

【】: 常時録画 【】: イベント録画 【】: 静止画像

②ファイル数 : 選択されているフォルダ内のファイル数を表示します。

③ファイル選択 : 記録されたファイルを一覧で表示し、再生したいファイルを選択します。

常時録画ファイル名:【FILE……F(R).MP4】 イベント録画ファイル:【EMER……F(R).MP4】

静止画像ファイル名:【IMG……F(R).JPG】

※ファイル名の見方例: 常時録画ファイル【FILE250206-134748-000044F.MP4】の場合、

『フロントカメラ』で『2025年2月6日13時47分48秒』に録画された『44番目』のファイルであることを示します。

④サムネイル画面: 選択したファイルを表示（再生）します。

⑤ファイル削除 : 選択したファイルを削除します。

⑥全画面表示 : 選択したファイルを全画面で表示します。

⑦ファイル時間 : 選択したファイルの時間を表示します。

⑧再生バー : 選択したファイルの再生／一時停止箇所を任意で調整できます。

⑨再生／一時停止 : ビデオファイルの再生／一時停止を操作できます。

⑩フロント／リア : フロントカメラ／リアカメラを選択します。

⑪再生画面を閉じ、常時録画（ループ録画）を自動的に再開します。

●バックガイド線表示と後退時表示映像の位置調整

車両後退時にリアカメラ映像へバックガイド線を表示し、車両周囲の距離感を把握することができます。

- 1) 液晶モニターにバックガイド線を表示する場合は、配線の接続が必要となります。配線が正しくないと、バックガイド線は表示されません（『3、取付方法・●リアカメラ配線方法と取付方法』を参照）。
- 2) 『バックガイド線表示』の設定を、『オン』にしてください（『5、メニュー設定一覧』を参照）。

- 3) シフトをリバースに切替えてバックランプが点灯すると、液晶モニターにリアカメラ映像とバックガイド線が表示されます。
※リアカメラ映像は、通常より下方を表示する設定となっています。
- 4) バックガイド線の調整を行う場合、『バックガイド線調整』の設定で、バックガイド線の調整を行ってください（『5、メニュー設定一覧』を参照）。
- 5) 表示されたバックガイド線は、上下左右任意の位置へ調整することができます。また、液晶モニターを指で縦にスライド操作することでリアカメラ映像の上下位置も調整することができます（図25参照）。

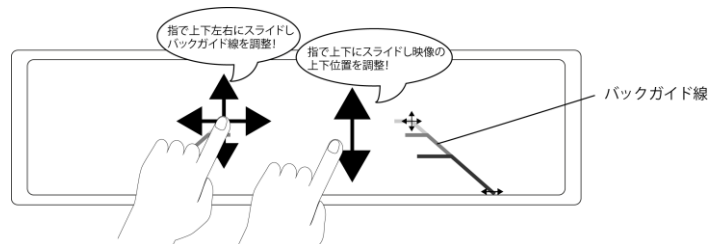


図 2 5

※上下位置調整後は、次回起動時以降も同じ位置で表示されます。

※バックガイド線は、車両後方周辺の状況確認の補助手段として使用してください。

5、メニュー設定一覧

※メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 液晶モニターの『下部区域』をタッチすることで、各種アイコンが表示されます（図20参照）。
- 2) 【】アイコンをタッチして録画を停止してください（図19参照）。
- 3) メニュー設定アイコン【】をタッチしてメニュー設定画面を表示してください（図19参照）。
- 4) 下記一覧表の内容を参考に設定してください。

（◆）：出荷時の設定です。

メニュー項目	機能説明	選択項目
音声記録	ビデオ録画時の音声記録を設定することができます。	オン(◆)／オフ
操作音	本体操作音の有無を設定することができます。	オン(◆)／オフ
音量	スピーカー音量や操作音量を設定することができます。	1～10段階調整 ※出荷時設定：5
駐車録画	本機能は、#1121571000（常時電源接続式）の場合のみ設定・使用できます。 ※#1121570000（アクセサリソケット接続式）の場合は、表示されません。	
駐車録画設定	駐車録画の作動を設定することができます。	オン／オフ(◆)
駐車録画時間	駐車録画の最大作動時間を設定することができます。	・12時間 ・24時間(◆)
フレームレート	駐車録画時のフレームレート（動画の滑らかさ）を設定することができます。 ※数値が高いと滑らかな動画、低いとカクついた動画となり、動作確認には5FPS推奨。	・1FPS(◆) ・2FPS ・5FPS
Gセンサー感度	車両への衝撃を検出する感度を設定することができます。 ※『オフ』に設定すると、衝撃を検出しないのでご注意ください。	・オフ ・高 ・中(◆) ・低
日付と時間	『4、使用方法 ●液晶モニター表示と操作』を参考に、手動で設定します（図21参照）。	
現在時刻表示(画面)	液晶モニターの日付・時刻表示の有無を設定することができます。	オン(◆)／オフ
時間表示形式	12時間制表示／24時間制表示を設定します。	・12時間(◆) ・24時間
言語	表示言語を設定することができます。	・英語 ・中国語 ・日本語(◆)
周波数	周波数帯の設定を行います。	・50Hz（東日本）(◆) ・60Hz（西日本）
画面オフ時間	画面表示が非表示になるまでの時間を設定します。	・オフ(◆) ・1分 ・2分 ・3分
GPS受信状態	GPSの受信状況を確認することができます。	
タイムゾーン	タイムゾーンを設定することができます。 ※日本：GMT+9:00	GMT-12:00～GMT+12:00 ※出荷時設定：GMT+9:00
方角速度表示	液晶モニターの方角・速度表示の有無を設定することができます。 ※車両速度は、本商品のGPSユニットでの検知速度となり、車両の速度メーターとは誤差がある場合があります。	オン(◆)／オフ
速度単位	速度単位をキロメートル表示・マイル表示に設定することができます。	・km/h(◆) ・mph
速度制限アラーム	車速が設定速度を超えると、アラーム音が鳴ります。	・オフ(◆) ・30～160km/h (10km/h刻みで設定可)
録画自動再スタート	オン：メニュー設定画面やファイル再生画面で無操作が約30秒間続くと、自動的に録画面に戻り、録画を再開します。 オフ：無操作が30秒以上継続しても、画面はそのまま、録画も再開しません。	オン(◆)／オフ
デフォルト画面	起動中に液晶モニターへ表示するカメラ映像を設定できます。再起動後より設定が反映されます。	・リアカメラ(◆) ・フロントカメラ ・2画面

リアカメラ優先	オン：上記デフォルト画面表示後に、自動的にリアカメラ映像を表示します。	オン(◆)/オフ
リアカメラ鏡像正像切替え	リアカメラ映像の鏡像を設定することができます。 ※オン：鏡像/オフ：正像	オン(◆)/オフ
バックガイド線表示	車両後退時にリアカメラ映像へバックガイド線を表示することができます。 ※詳細は、『4, 使用方法 ●バックガイド線表示と後退時表示映像の位置調整』を参照。	オン(◆)/オフ
バックガイド線調整	バックガイド線の位置調整を設定できます。	
ステータス表示	液晶モニターに表示される、⑦GPSアイコン/⑧音声録音アイコン/⑨microSDカードアイコンの表示有無を設定します。	オン(◆)/オフ
初期化	各種設定を初期化し、出荷時の状態に戻します。	・OK ・キャンセル
SD カードフォーマット	カード内のファイルをフォーマットします。 ※詳細は、『4, 使用方法 ●microSD カードのフォーマット方法』を参照。 ※フォーマットする前に重要なファイルをパソコンなどにバックアップしてください。	・OK ・キャンセル
バージョン	本商品のバージョン情報や内蔵バッテリーの充電状態を確認することができます。	

6, バックアップ方法

※microSD カードに保存されたファイルのバックアップは、定期的に作成してください。

- 1) カードリーダーなどを利用して microSD カード内のファイルをパソコンで読み込んでください。
- 2) 読み込み後、『Event』: イベント録画フォルダ、『Normal』: 常時録画フォルダ、『Photo』: 静止画像フォルダの3フォルダが表示されます。
- 3) 各フォルダを開くと、『F』: フロントカメラ撮影フォルダ、『R』: リアカメラ撮影フォルダの2フォルダが表示されます。
- 4) 各フォルダに保存されたファイルを確認してください。
ファイル名に関しては、『4, 使用方法 ●ファイルの再生 ○再生方法』を参照してください。
※パソコンでファイルにアクセスした場合、ファイル名の拡張子は表示されません。
- 5) 保存したいファイルをコピーし、パソコン内でバックアップを作成してください。

7, エラーメッセージ表示

・本商品使用中にエラーが発生すると、下記メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認の上、対処してください。

表示メッセージ	原因	対処・内容
SDカードが挿入されていません。	本商品にmicroSDカードが挿入されていません。	microSD カードを挿入してください。 microSD カードが挿入されている場合は、本商品で認識できずエラーになっている可能性があります。新しいmicroSD カードへ交換してください。
リアカメラが接続されていません。	リアカメラセット未接続状態です。	リアカメラセットを使用している場合は、各種配線の接続を確認してください。

8, システムリセット方法

※本商品が何らかの影響で誤作動や、止まってしまった場合、システムリセットを行なってください。

- 1) ドライブレコーダー本体のリセットボタンを押してください。先の細いピン等を使用し、ボタンを押すとリセットされます(『1, セット内容と各部名称 ●各部の名称と主な働き』を参照)。
- 2) 強制的にシステムが終了し、再起動します。再起動後、正常に作動していることを確認してください。

9, PC専用再生ソフトに関して

GPSユニットを接続して録画した映像の位置情報や車両速度などを交えてファイル内容を確認することができます。

Windows とMac OS に対応しています。

※駐車録画時は省電力で作動している為、GPS が起動していません。その為、PC 専用ソフトで再生中に地図情報は表示できません。予めご了承ください。

PC 専用再生ソフトは、弊社HPよりダウンロードできます。

下記のURLまたは、右記ORコードより弊社HPの商品掲載ページへアクセスできます。

・#1121570000 アクセサリーソケット接続式

<https://pa-man.shop/shop/g/g1121570000/>



・#1121571000 常時電源接続式

<https://pa-man.shop/shop/g/g1121571000/>



※地図情報表示には、インターネット環境が必要となります。

※セキュリティソフトにより再生アプリケーションをインストールできない場合があります。

※全てのパソコン、OSでの動作保証をするものではありません。また、一部表示や機能が異なる場合があります。

※パソコンの処理能力や使用環境によっては、正常に再生・作動しない場合があります。

●PC専用再生ソフト使用方法

○製品登録について

- 1) インストール後、『DVPlayer』のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。
- 2) ダブルクリックすると、『DVPlayer』のアプリケーションが起動します（図26参照）。
製品登録を行ってください。
- 3) 『⑲バージョン』をクリックし、続いて『製品登録』をクリックしてください（図27参照）。
- 3) 『レジストレーションコードを登録する』をクリックしてください（図28参照）。
- 4) レジストレーションコードには、下記コードを入力してください。
レジストレーションコード



※弊社でレジストレーションコードは管理できません。大切に保管してください。

- 5) メールアドレスを入力し、『登録』をクリックしてください（図29参照）。

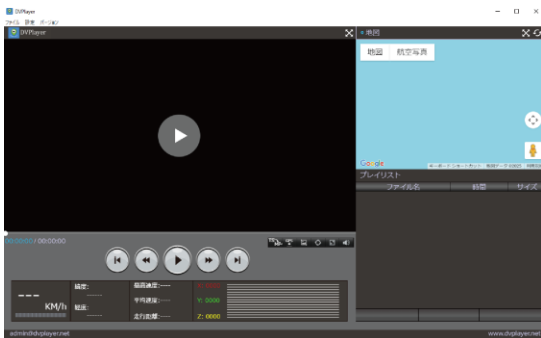


図 2 6



図 2 7

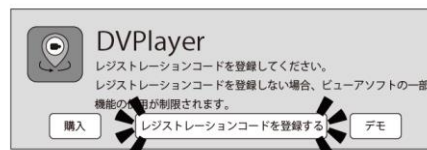


図 2 8



図 2 9

○画面の表示について

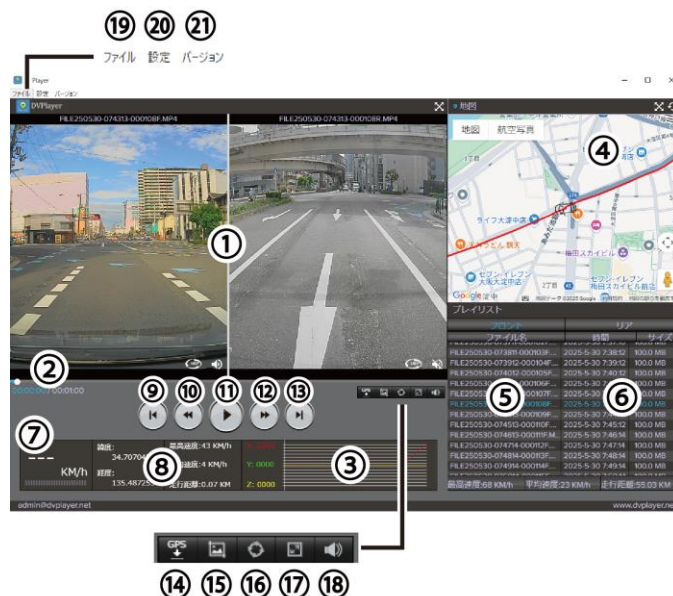


図 3 0

- ①再生画面 : 再生画面を表示します。
- ②スクロールバー : クリック、ドラッグすることで任意の位置へ巻戻し、早送りすることが可能です。
- ③— : 本商品では使用しません。

- ④地図情報表示 : 地図上で車両の位置を確認することが可能です。
※GPS未受信状態、GPSユニット未接続状態での映像記録や、パソコンがインターネット未接続状態時は表示されません。
- ⑤プレイリスト : 再生ファイルを一覧で表示します。
ファイル名クリックし選択状態（青字）時に、ダブルクリックで再生を開始します。
- ⑥再生ファイル情報 : 撮影日、ファイル容量を表示します。
- ⑦速度表示 : 走行中の車両速度を表示します。
- ⑧各種情報表示 : 走行中の情報を表示します。
- ⑨スキップアイコン : 再生リスト内の1つ前のファイルに移動します。
- ⑩コマ送りアイコン : 10秒ずつコマ戻しします。
- ⑪再生／一時停止アイコン : ファイルの再生／一時停止します。
- ⑫コマ送りアイコン : 10秒ずつコマ送りします。
- ⑬スキップアイコン : 再生リスト内の1つ次のファイルに移動します。
- ⑭ー : 本商品では使用しません。
- ⑮スクリーンショット : 再生中の画面を画像ファイルとして保存します。
- ⑯連続再生 : ファイルを連続で再生します。
- ⑰ズーム : 再生画面の倍率を変更します。
- ⑱音量 : 再生ファイルの音量を調整します。
- ⑲ファイル : 再生したいファイルが入ったディスクにアクセスします。ファイルを選択すると、⑤再生ファイル一覧に表示されます。
- ⑳設定 : ファイル再生時の各種設定を行います。
- ㉑バージョン : 製品登録（レジストレーションコード登録）に使用します。

○操作について

- カードリーダーなどを利用して microSD カードをパソコンで読み込んでください。
- 『DVP l a y e r』のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。
- ダブルクリックすると、『DVR P l a y e r』のアプリケーションが起動します（図26参照）。
- ⑲ファイルをクリックし、再生したいファイルが入ったディスクにアクセスしてください。
その際、1ファイルだけ確認したい場合は『開くファイル』からディスクへ、フォルダ内のファイルを全て確認したい場合は『開くフォルダ』を選択してください（図31参照）。
選択後、⑤プレイリストに再生ファイルがアップされ、ファイル名をダブルクリックすると再生が開始します。
- ⑳設定をクリックし、ファイル再生時の各種設定が行えます。『再生モード』で『2画面』を選択すると、フロントカメラ&リアカメラで撮影されたファイルを同時に確認することができます（図30参照）。

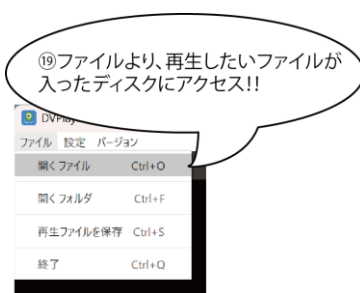


図 3 1

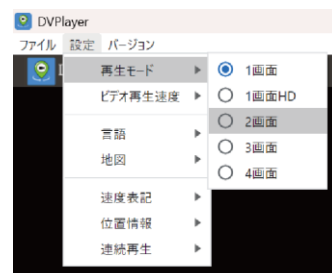


図 3 2

10. 注意事項

⚠危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う事になるもの。）	
1.	運転中は、本商品の操作を絶対にしないでください。また液晶モニターを注視しないでください。交通事故、交通違反の原因になります。操作をする場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
2.	本商品、及び配線等は、運転者の視界や運転操作の妨げになる場所に設置しないでください。また、落下しないように正しく確実に取り付けしてください。正しく取り付けされていない場合、交通事故の原因になります。
3.	本商品の電源電圧は、DC12／24Vです。その他の電圧で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
4.	#1121570000（アクセサリソケット接続式）の電源プラグ付き電源コードは、切断して使用しないでください。本商品は電源プラグ内で変圧しています。
5.	本商品をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。事故発生時にエアバッグが正常に作動しない恐れがあります。また、作動したエアバッグによりケガの原因となります。
6.	医療用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により、何らかの影響を与える恐れがあります。
7.	道路運送車両法を遵守して、本商品の取り付け、使用を行なってください。
⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。）	
1.	本商品の取り付けは、必ず車両のエンジンを切った状態で行なってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電および故障の原因となります。
2.	各種コード及びケーブルを傷付けたり、加工したり、無理に折り曲げたり引っ張ったりしないでください。感電及び火災の原因となります。また、束ねた状態で使用しないでください。

3. **本商品の内部に金属や異物を入れない**でください。火災や感電、故障の原因となります。
4. リアカメラ・リアカメラ用20m防水延長コード以外は防水仕様ではありません。車外には設置しないでください。
5. 水が掛かる様な場所や埃が多い場所では、使用しないでください。接触不良により、感電及び火災の原因となります。
6. 本商品を取り付けする際は、必ず付属部品を使用してください。
7. 本商品の分解、修理、改造は、絶対にしないでください。故障の原因になります。
8. 本商品の作動に異常（異常な音や臭い／煙／破損／水や異物の混入／作動不良等）がある場合は、直ちに使用を中止してください。火災などの原因となります。
9. 本商品の**動作温度範囲は-20℃～70℃、保管温度範囲は-30℃～80℃**です。その他の温度で使用、保管すると、製品の変形及び、火災、爆発の原因となります。夏場の駐車時は、サンシェードなどで車内温度上昇を防いでください。
10. 本商品の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。
11. ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。また紫外線の影響で変色や変質などの劣化が起きることがあります。
12. 各電源コード、又は電源プラグ付き電源コード接続ソケット周辺等の埃や汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良による感電及び火災の原因となります。
13. **#1121570000**（アクセサリソケット接続式）の電源プラグ付き電源コードの電源プラグは、車両のアクセサリソケットへ奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込んでいない場合、接触不良で発熱し電源プラグが破損する恐れがあります。
14. **#1121570000**（アクセサリソケット接続式）の電源プラグ付き電源コードを接続しても本商品の電源が入らない場合は、電源プラグ先端を半時計回転方向に回して取り外し、ヒューズを確認してください。
また、**#1121571000**（常時電源接続式）の常時電源コードを接続しても本商品の電源が入らない場合は、赤色配線（ACC）と黄色配線（BAT+）のヒューズBOXを開き、ヒューズを確認してください。
#1121570000（アクセサリソケット接続式）でヒューズが溶断している場合は、新しい**ミニ管ヒューズ**（3A／250V）へ、**#1121571000**（常時電源接続式）でヒューズが溶断している場合は、新しい**管ヒューズ**（3A／250V）へ交換してください。必ず**規定容量のヒューズと交換**してください。
反時計回転方向に回し、ヒューズを取り外します。



15. **#1121570000**（アクセサリソケット接続式）の場合、車両のアクセサリソケットで**単独使用**してください。増設ソケットなどで、複数の電化製品と同時使用しないでください。
16. 本商品を使用及び取り付ける機器（乗用車、トラック、各種電源等）の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用してください。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

1. 本商品は、常時録画／イベント録画共通で、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。事故などに遭った場合は安全な場所に停車し、速やかにmicroSDカードを抜き取って保管してください。
2. 車両のエンジンを停止した状態で、本商品を使用しないでください。バッテリーが消耗する原因になります。
3. 本商品を長時間使用しない状況が続く際は、本商品の電源を切ってください（電源ボタンを3秒以上長押し）。
4. **#1121571000**（常時電源接続式）の常時電源コードを使用し、駐車録画を行う際は車両のバッテリーに負担が掛かります。週に1度はエンジンを始動し充電を行ってください。また定期的にバッテリーの点検を行ってください。
5. 濡れた手で本商品の操作、配線作業をしないでください。感電、ショート、火災の原因になります。
6. 本商品に強い衝撃を与えないでください。衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
7. 液晶モニターのタッチパネルに過度な力を加えないでください。
8. **本商品の近くに磁気性がある物を置かない**でください。製品の誤作動及び故障の原因となります。
9. 本商品の近くにGPS搭載の他製品は設置しないでください。誤動作を起こす場合があります。
10. テレビアンテナやレーダー探知機等の電気製品を設置している付近に本商品を取り付けると、電波の干渉により録画/撮影されたファイルにノイズが発生、ファイル損失する恐れがあります。この様な場合は、本商品と離して設置する事でノイズが軽減されます。
11. ダッシュボードの形状や材質、色付きガラス、劣化した車体や内装の表面、及び清掃等で使用した洗浄剤や艶出剤等の様々な影響で、microSDカードに録画/撮影されたファイルが歪んだり、反射光が映り込んだり、暗くなる恐れがあります。
12. 急激に明るさが変化する場合や逆光が強い場合、夜に光源がない場合等の条件下では録画品質が落ちる恐れがあります。
13. 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前後方の状況を正しく認識できない恐れがあります。
14. 暗い環境では、なるべく高画質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯させてください。
15. フロントガラス表面や本商品のフロント／リアカメラレンズの表面はいつもキレイにしておいてください。
16. 液晶が汚れた際は、付属のクロスで拭き取ってください。
17. リアガラスにプライバシーガラスを採用している車両でリアカメラを車内に取り付けた場合、夜間の録画品質が落ちる恐れがあります。
18. リアカメラの取付位置によっては、自転車・後続車の灯火類により映像が確認しにくい場合があります。
19. **LED方式の信号機では、点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする恐れがあります。**また、色の識別ができない恐れがあります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
20. 本商品は車両に取り付けて使用するドライブレコーダー及びリアカメラです。その他の用途には使用しないでください。
21. 本商品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。
22. 本商品は**自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。**

23. 本商品はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
24. 本商品はGセンサーで衝撃を感知して事故発生時の録画/撮影されたファイルを記録しますが、全ての状況において記録を保証するものではありません。
25. 本商品の故障や使用による損害、また録画/撮影されたファイルの破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
26. 本商品で録画/撮影された被写体等は、プライバシーの侵害となる恐れがあります。取り扱いにご注意ください。
27. 万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び再取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
28. 本商品は予告なく仕様変更する場合があります。予め、ご了承ください。
29. 本商品の各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境(路面状況等)の影響により、正しく作動しない恐れがあります。
30. 本商品で撮影できる範囲には限界があります。予め記録される映像を確認の上、ご使用ください。
31. microSD カードは、必ず本商品の電源が切れていること(電源ボタンを3秒以上長押し)を確認してから取り外してください。
32. 初めて使用する際は、必ず本商品を使用して microSD カードのフォーマットを行ってください。
33. 本商品はフォーマットフリータイプですが、『録画できない』『録画したファイルが再生できない』などの症状が発生した際や、『64GB以上の microSD カードをご使用時』は、バックアップを作成後に定期的に本商品を使用してフォーマットを行ってください。
34. microSD カードをフォーマットする時は、必ず microSD カード内の必要なファイルを、パソコンのハードディスク等に保存してください。フォーマットをすると、microSD カード内の全てのファイルが消去されます。
35. ファイルのフォーマット及び動作中には microSD カードの抜き差しをしないでください。記録したファイルの損傷、本商品破損の原因になります。
36. microSD カードをフォーマットする際は、必ず本商品のフォーマット機能を使用してください。
37. 本商品で使用する microSD カードに他のファイルを保存したり、他の機器に使用しないでください。正しく作動しなくなる恐れがあります。
38. 市販品の新しい microSD カードを使用する時は、最初に本商品を使用してフォーマットしてください。
39. 市販品の microSD カードを使用した場合による、本商品の動作異常に関して、当社では一切の責任を負いません。
40. microSD カードに保存されたファイルが何らかの原因により破損や消去された場合、当社では一切の保証、復元は出来ません。予め、ご了承ください。
41. microSD カードには寿命があります。長期間使用していると正常な録画ができない恐れがあります。不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
42. microSD カードは消耗品の為、保証対象外となります。
43. 本商品は、8GB～128GB、Class 10の microSD カードに対応しています。但し、全ての microSD カードに対して動作を保証するものではありません。
44. 本商品はバッテリーを内蔵しています。不要になった商品は、一般のゴミと一緒に捨てずに、リサイクル協力事業者等の回収拠点までお持ちください。
45. 車両のアクセサリソケットの形状により、#1121570000(アクセサリソケット接続式)の電源プラグが取り付けできない車種があります。ご了承ください。

